

船舶事故調査報告書

平成22年8月5日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成22年3月21日 09時25分ごろ～13時30分ごろの間）
発生場所	不明（高知県土佐清水市千尋岬沖～三崎漁港付近の間）
事故調査の経過	平成22年3月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{こうえい} 幸栄丸、0.3トン K03-50690（漁船登録番号）、個人所有 4.31m(Lr)×1.49m×0.64m、FRP ガソリン機関、30kW（漁船法馬力数）、平成5年6月25日
乗組員等に関する情報	船長 男性 30歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成10年11月6日 免許証交付日 平成20年6月30日 (平成25年11月5日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣りの目的で出航後、船長が、平成22年3月21日09時25分ごろ、携帯電話で知人に波が高いので釣り場を千尋岬沖から三崎漁港側へ変更する旨の連絡を行ったが、その後、13時30分ごろから音信不通となり、家族が17時30分ごろ海上保安庁に118番通報をした。 本船は、22日15時01分ごろ、高知県室戸市室戸岬の南東約48海里の海上において、無人で漂流しているところを、捜索中の海上自衛隊の航空機によって発見された。 行方不明となっていた船長は、23日13時04分ごろ、土佐清水市沖の水島付近で捜索中の地元ダイバーにより、水深約3mの海底で発見された。 船長は、溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇りのち晴れ、風向 西、風力 4 海象：時化模様 特記事項：四国沖北部区域には海上強風波浪警報が発表されていた。
その他の事項	救命胴衣は、船内に残っていた。

	<p>船長が発見されたとき、着衣等は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 厚手のウインドブレーカーを上下、二重に着込んでいた。 ② 帽子と手袋は見当たらなかった。 ③ 左足用の長靴は付近で発見されたものの、右足用の長靴は発見されなかった。 <p>無人の船体が発見されたとき、船外機は、始動スイッチがONで、クラッチは「中立」となっていたものの停止していた。</p> <p>燃料油タンクには、燃料油（ガソリン）が約半分残っていた。</p> <p>船外機は、正常な始動及び運転ができる状態であった。</p> <p>船体に損傷はなかった。</p> <p>3月下旬の水島周辺の海水温度は、10～15℃であったと予想される。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明</p> <p>死因は溺死であった。</p> <p>本船は、船長が1人で乗船し、21日09時25分ごろ千尋岬沖から三崎漁港側へ釣り場を変更する旨を知人へ連絡後、13時30分ごろ音信不通となり、22日15時01分ごろ室戸岬南東方沖において、無人で漂流しているところを発見されたことから、09時25分ごろ三崎漁港付近に向けて千尋岬沖を発航後、13時30分ごろの間において、船長が落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が千尋岬沖を発航後、船長が落水したことにより発生した可能性があると考えられるが、落水した原因を明らかにすることはできなかった。</p>	